

| | | | | | |
|-----|-----|-----|------|----|-------------|
| 合 議 | 担 当 | 係 長 | 課長補佐 | 課長 | 水道技術 管理者 |
| | | | | | |

給水装置工事申込みの取消届

令和 年 月 日

倉吉市上下水道局

倉吉市長 様

給水装置工事申込者 住 所
氏 名 ㊟

指定給水装置工事事業者 ㊟

令和 年 月 日付で申込みしました給水装置工事について、
次のとおり申込みの取消をしたいので届け出ます。

| | | |
|-----------|-----|----------|
| 給水装置工事受付 | 第 号 | 令和 年 月 日 |
| 給水装置所在地 | 倉吉市 | |
| 申込みの取消の理由 | | |

備考

1. 着工後に「申込みの取消」をする場合は、現況の図面を添付してください。
2. 着工後に「申込みの取消」をする場合で、水道施設に直結する給水装置がある場合は、工事しゅん工検査の申込をしてください。

支管分岐同意書

（第三者の給水装置から分岐して給水装置を設置）

令和 年 月 日

倉吉市上下水道局

倉吉市長 様

分岐に同意する給水装置所有者 住所
氏名 ⑩

別添給水装置工事申込書のとおり、給水装置工事に伴う支管分岐に同意します。

この分岐のため出水不良などいかなる事態が生じても当事者間で解決し、水道局 に対し異議は申しません。

給水装置所有者を変更するときは、このことを譲渡人に継承します。

1 分岐元の給水装置

| | |
|---------|-----|
| 給水装置所在地 | 倉吉市 |
| 使用者氏名 | |

2 上記給水装置から新たに分岐しようとする給水装置

| | |
|-------------------|-----|
| 給水装置所在地 | 倉吉市 |
| 給水装置住所 工事申込者氏名 | |
| 備考 | |

誓約書

(自家用給水設備 又は 受水槽設備 を水道直結直圧方式へ切替)

令和 年 月 日

倉吉市上下水道局

倉吉市長 様

給水装置工事申込者 住所
氏名 ⑩

| | |
|-----------------|--|
| 給水装置所在地 | 倉吉市 |
| 施設名 | |
| 給水装置住所 所有者氏名 | ⑩ |
| 使用者住所 氏名 | |
| 設備の種類 | <input type="checkbox"/> 自家用給水設備 <input type="checkbox"/> 貯水槽水道 <input type="checkbox"/> その他 () |

このたび上記の給水設備を、直結直圧方式の給水装置に切替するにあたり、次の誓約事項を遵守します。

1. 給水の制限、停止、断水又は漏水のため損害が生ずることがあっても、苦情の申し出は致しません。
2. 既設の給水装置を利用する場合は、直結給水圧が原因で既設の給水装置が破損し損害が生ずることがあっても、給水装置所有者において解決します。
3. 既設の給水装置を利用するにあたり、給水装置の構造及び材質の基準(以下、「構造材質基準」という。)に適合しない部分が発見された場合は、給水装置所有者においてただちに改善します。
4. 配水管の水圧に影響を及ぼす恐れのあるポンプを直接連結しません。
5. 当該給水装置以外の水管その他の設備に直接連結(クロスコネクション)しません。

既設の給水設備を利用するにあたり、当該設備が構造材質基準に適合していることを確認しました。

指定給水装置工事事業者

給水装置工事主任技術者

⑩

誓約書

(水圧低下又は出水不良のおそれがあるとき)

令和 年 月 日

倉吉市上下水道局

倉吉市長 様

給水装置工事申込者 住所
氏名 ⑩

| | |
|-----------------|-----|
| 給水装置所在地 | 倉吉市 |
| 給水装置住所 所有者氏名 | ⑩ |
| 使用者住所 氏名 | |

給水装置工事を行うにあたり、次の理由で水圧低下又は出水不良になるおそれがありますが、次の誓約事項を遵守します。

1. 水圧低下又は出水不良になっても水道局に対し異議の申し立てをせず、給水装置所有者の責任において解決します。また、出水不良を理由に水道料金の不払いはしません。
2. 使用者及び他の同居人に対しても、このことを周知します。
3. 給水装置所有者を変更するときは、このことを譲渡人に継承します。
4. 量水器の適正使用流量を外れる場合は、給水装置所有者においてただちに改善します。

(理由)

誓約書

(給水装置に直結直圧で連結するスプリンクラー設備の設置)

令和 年 月 日

倉吉市上下水道局

倉吉市長 様

給水装置工事申込者 住所
氏名 ⑩

| | |
|--------|--|
| 施設名 | |
| 施設の所在地 | |
| 施設の種類 | <input type="checkbox"/> 特定施設 <input type="checkbox"/> その他 () |

上記施設において、給水装置に直結直圧で連結するスプリンクラー設備(以下、「水道直結式スプリンクラー設備」という。)を設置するにあたり、次の誓約事項を遵守します。

1. 災害その他正当な理由によって、一時的な断水や水圧低下等により水道連結型スプリンクラー設備の性能が十分発揮されない状況が生じても水道局に責任がない旨を了知します。
2. 水道直結式スプリンクラー設備が設置された家屋、部屋を賃貸する場合には、前項の条件がある旨を借家人等に熟知させます。
3. 水道直結式スプリンクラー設備の火災時以外における作動及び火災時の水道局にその責を求めることのできない非作動に係る影響に関する責任は、水道局が責任を負わない旨を了知します。
4. 水道直結式スプリンクラー設備が設置された給水装置の所有者を変更するときは、このことを譲渡人に継承します。

誓約書

(特殊器具の設置)

令和 年 月 日

倉吉市上下水道局

倉吉市長 様

給水装置工事申込者 住所
氏名 ⑩

| | |
|-----------------|-----|
| 給水装置所在地 | 倉吉市 |
| 給水装置住所 所有者氏名 | ⑩ |
| 使用者住所 氏名 | |

次の特殊器具を設置するにあたり、次の誓約事項を遵守します。

1. 水質を変化させる器具については、当該器具下流の水質について水道局に責任がない旨を了知します。
2. 当該器具が原因で水圧低下又は出水不良が生じても、給水装置所有者の責任において解決します。
3. 逆流のおそれがある器具については、逆流防止の措置をし、適切に維持管理します。
4. 当該器具を設置した事によりいかなる事態が生じても当事者間で解決し、水道局 に対し異議は申しません。また、それを理由に、水道料金の不払いはしません。

特殊器具の概要

| | |
|------------|---|
| 製造会社 | |
| 商品名 | |
| 規格・品番 | |
| 性能基準適合証明方法 | <input type="checkbox"/> 自己認証 <input type="checkbox"/> 第三者認証 <input type="checkbox"/> JIS認証 <input type="checkbox"/> 日本水道協会検査 <input type="checkbox"/> その他 () |

※ カタログ（型式等が記載してあるもの）及び認証品である場合は認証登録証の写しを添付

| 受水槽設置台帳 | | 整理番号 | |
|---------------|--------------------------|------|----------------|
| 設置場所 | 倉吉市 | | |
| 施設の名称 | | | |
| 設置年月日 | 令和 年 月 日 | | |
| 所有者 | 住所 | | |
| | 氏名 | | |
| 使用者 | | | |
| 使用目的 | | | |
| 施工業者 | | 電話 | |
| 消火施設 | 有 ・ 無 (施設内容：) | | |
| 直圧水栓 | 有 ・ 無 (受水槽流入の一次側に設置) | | |
| 給水設備 | ボールタップ 口径 型式 | | |
| 揚水(又は加圧)ポンプ関係 | ポンプ給水用管口径 | | |
| | 揚水量 | ℓ/分 | 台数 台 |
| 水槽設置位置 | 受水槽 | | 高置水槽 |
| | 屋内 ・ 屋外 | | 屋内 ・ 屋外 |
| 水槽材質 | FRP ・ 鋼材 | | FRP ・ 鋼材 |
| | その他 () | | その他 () |
| 水槽形状 | 幅×奥行×高さ m ³ | | m ³ |
| 有効容量 | 幅×奥行×有効高さ m ³ | | m ³ |
| 流入管 | 口径 | | 口径 |
| 越流管 | 口径 | | 口径 |
| 水抜管 | 口径 | | 口径 |
| 警報装置 | 有 ・ 無 | | 有 ・ 無 |
| 修繕委託業者 | | 電話 | |
| 備考 | | | |

令和 年 月 日

倉吉市上下水道局
倉吉市長 様

給水装置工事申込者 住所
氏名 ㊟

3階直結給水 協議書

「倉吉市給水装置工事設計施工基準」に基づき次のとおり給水装置の構造計算を
しましたので、直結給水の可否について確認をお願いします。

記

1 給水装置の設置場所 倉吉市

2 建築物の概要 新築 既設 階建

3 添付書類

(1) 位置図

(2) 給水装置構造設計書

(3) 使用水量計算書及び水理計算書

(4) 配水管から3階給水栓までの平面図及び立面図

(5) 水圧記録紙の写し

(6) 建築確認書の写し(新築の場合)

| 給水装置の概要 | | | |
|-----------------------|---|----------------|-------------------|
| 1 建築物の種類 | <input type="checkbox"/> 専用住宅 <input type="checkbox"/> 集合住宅 <input type="checkbox"/> 業務用ビル <input type="checkbox"/> () | | |
| 2 給水戸数 (用途内容) | ①住居 戸 | ③事務所 戸 | |
| | ②店舗 戸 | ④その他 戸 | 合計 戸 |
| 3 1日最大使用量 | 使用水量計算書より | | m ³ /日 |
| 4 配水管、給水管 及び量水器の口径 | ①配水管 mm | ③量水器 mm | 個 |
| | ②給水管 mm | | 個 |
| | | | 個 |
| 5 給水装置所在地 又は周辺の水圧 | ①測定場所 | | |
| | ②測定日 | 年 月 日 から 日間 | 年 月 日 から 日間 |
| | ③最小動水圧 | MPa | MPa |
| 6 指定工事業業者 | 住所 氏名 ㊟ | | |

誓 約 書

特例として3階直結給水をするにあたり、次のことを誓約します。

記

1. 水圧低下又は出水不良になっても水道局に対し異議の申し立てをせず、給水装置所有者の責任において解決します。また、出水不良を理由に水道料金の不払いはしません。
2. 給水の制限、停止、断水又は漏水のため損害が生ずることがあっても、苦情の申し出は致しません。
3. 負圧の発生により設備の破損等が生じないように、負圧破壊又は逆流防止の措置をし、適切な維持管理をします。
4. 給水装置所有者を変更するときは、このことを譲渡人に継承します。

令和 年 月 日

倉吉市上下水道局
倉吉市長 様

給水装置工事申込者 住所
氏名 ㊟

令和 年 月 日

様
倉吉市上下水道局
倉吉市長

3階直結給水の協議に係る通知

令和 年 月 日付で協議のあった直結給水については、次のとおりとします。

記

1 直結給水の可否 承認 不承認

2 施工の条件又は不承認の理由

| | | | | | | | | | | |
|----------------|-----|------|----|---|---|---|--|--|--|--|
| 給水管分岐及び布設 状況写真 | | 整理番号 | | | | | | | | |
| 給水装置工事受付 | 第 | 号 | 令和 | 年 | 月 | 日 | | | | |
| 給水装置所在地 | 倉吉市 | | | | | | | | | |
| 給水装置工事 申込者 | 住所 | | | | | | | | | |
| | 氏名 | | | | | | | | | |
| 指定給水装置工事事業者 | | | | | | | | | | |
| 給水装置工事主任技術者 | | 撮影 | 令和 | 年 | 月 | 日 | | | | |

写真添付

公道部の給水管の分岐及び布設の状況

配水管からの分岐部と1次止水装置が左右に並ぶように撮影
1枚で収まらない場合は、本様式を数枚添付してください。

(撮影の注意点)

- 分岐部と他の分岐及び継手との離隔が確認できる。
- 給水管が確認できる。(明暗の調整)
- 給水管の深さが確認できる。
- 給水管の継手が確認できる。
- 維持管理に活用できる撮影を心がける。

全 景

分岐元の配(給)水管

(管種)

(管径)

(土被り) m

給水管

(管種)

(管径)

(土被り) m

写真添付

公道部の給水管の分岐及び布設の状況

配水管からの分岐部が前、1次止水装置が奥になるように撮影
1枚で収まらない場合は、本様式を数枚添付してください。

(撮影の注意点)

- 分岐部と他の分岐及び継手との離隔が確認できる。
- 給水管が確認できる。(明暗の調整)
- 給水管の深さが確認できる。
- 給水管の継手が確認できる。
- 維持管理に活用できる撮影を心がける。

分岐使用材料

(名称)

(規格)

(備考)

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|-----|------|----|---|---|---|--|--|--|--|--|
| 量水器設置 状況写真 | | 整理番号 | | | | | | | | | |
| 給水装置工事受付 | 第 | 号 | 令和 | 年 | 月 | 日 | | | | | |
| 給水装置所在地 | 倉吉市 | | | | | | | | | | |
| 給水装置工事 申込者 | 住所 | | | | | | | | | | |
| | 氏名 | | | | | | | | | | |
| 指定給水装置工事事業者 | | | | | | | | | | | |
| 給水装置工事主任技術者 | | 撮影 | 令和 | 年 | 月 | 日 | | | | | |

写真添付
量水器の設置位置（遠景）

建築物と量水器の位置関係が分かるように撮影

(撮影の注意点)

- ・ ボックス設置後に撮影、外構は未着工でも可。
- ・ バルブボックス、メータボックスを開ける。
- ・ ボックス内に水がたまっている場合は排水する。
- ・ 維持管理に活用できる撮影を心がける。

全 景

(オフセット)

向かって

(右・左)側の境界から

m

写真添付
量水器の設置状況（近景）

量水器付近を近景で、止水装置の種類が確認できるように撮影

(撮影の注意点)

- ・ ボックス設置後に撮影、外構は未着工でも可。
- ・ バルブボックス、メータボックスを開ける。
- ・ メータの上蓋を開ける。
- ・ ボックス内に水がたまっている場合は排水する。
- ・ 維持管理に活用できる撮影を心がける。

近 景

(オフセット)

手前

から

m

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|-----|------|----|---|---|---|--|--|--|--|--|
| 埋設表示ピン設置 状況写真 | | 整理番号 | | | | | | | | | |
| 給水装置工事受付 | 第 | 号 | 令和 | 年 | 月 | 日 | | | | | |
| 給水装置所在地 | 倉吉市 | | | | | | | | | | |
| 給水装置工事 申込者 | 住所 | | | | | | | | | | |
| | 氏名 | | | | | | | | | | |
| 指定給水装置工事事業者 | | | | | | | | | | | |
| 給水装置工事主任技術者 | | 撮影 | 令和 | 年 | 月 | 日 | | | | | |

写真添付

給水管埋設表示ピンの設置位置（遠景）

建築物と表示ピンの位置関係が分かるように撮影

(撮影の注意点)

- 給水管上流から下流に向かって撮影
- 1次止水装置又は量水器との位置関係がわかるように。

全 景

(オフセット)

向かって

(右・左)側の境界から

m

写真添付

給水管埋設表示ピン 設置位置（近景）

隣地又は道路境界と表示ピンの位置関係が分かるように撮影

(撮影の注意点)

- 給水管上流から下流に向かって撮影
- 1次止水装置又は量水器との位置関係がわかるように。

近 景

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----|------|----|---|---|---|--|--|--|--|---|--|--|
| 受水槽 設置状況写真 | | 整理番号 | | | | | | | | | | | |
| 給水装置工事受付 | 第 | 号 | 令和 | 年 | 月 | 日 | | | | | | | |
| 給水装置所在地 | 倉吉市 | | | | | | | | | | | | |
| 給水装置工事 申込者 | 住所 | | | | | | | | | | | | |
| | 氏名 | | | | | | | | | | | | |
| 指定給水装置工事事業者 | | | | | | | | | | | | | |
| 給水装置工事主任技術者 | | 撮影 | 令和 | 年 | 月 | 日 | | | | | | | |
| <div style="border: 1px dashed black; padding: 20px; text-align: center;"> <p>写真添付 受水槽 設置位置</p> <p>建物と受水槽の位置関係が分かるように撮影</p> </div> | | | | | | | | | | | <u>全 景</u> | | |
| | | | | | | | | | | | <div style="border: 1px dashed black; padding: 20px; text-align: center;"> <p>写真添付 受水槽 設置状況</p> <p>容量等の表示が見えるように撮影</p> </div> | | |